

ふれあい

No.229

 ふれあいネットワーク

ニコニコ笑顔宅配事業を 実施しました

12月21日、22日の2日間にわたって、給食サービスやハートコールなどの在宅ボランティアサービスの利用者、民生委員の皆さんを通じて利用申込みのあった方へ、サンタの帽子を被った配達ボランティアさんがお弁当とあざれあ工房で製作したプレゼント、ボランティアサービスを紹介するチラシを配布するニコニコ笑顔宅配事業を実施しました。

利用者の皆さんはいつもより豪華なお弁当、プレゼントに喜ばれ、ニコニコ、笑顔いっぱい
の事業となりました。



令和5年度 福祉作文コンクール 金賞作品紹介

小学生の部

「寄りそう気持ちを忘れずに」

石山 絢 菜（6年）

現在総合の授業では、福祉について学んでいる。最初の授業では、アイマスクをつけて、視覚障害者の体験をした。アイマスクをつけて歩くルートは、階段を下り、上って教室に入り、イスにすわるまでだった。特に階段はとてこわかった。あと何段なのか、手すりはどこか、つまずきそうに何度もなつた。目が不自由な人の世界は真つ暗だった。でも、手を貸してくれる人がいたから、少し安心した。屋外で車が走っている道路の近くだったり、そばに手を貸してくれる人がいなくて、たった二人で歩いていたらと思うとこわくてヒヤツとした。

次の週の授業では、車いす体験をした。車いすは足の障害を持っている人や、足をけがしているときなどに使うものだ。私は乗るのは初めてだった。少しドキドキしながら

がらも、乗ってみると、足の置場や手すりなどがしっかりとついていて、安定して乗ることができた。次は押す側をやった。段差のあるところでは、車いすの前の方をうかしたりしながら、なんとかスムーズに押すことができた。手をにぎるところの「グリッブ」の下には、ブレーキがついていたので、スピードを出さずにゆっくりと乗っている人がこわくないように押しながら歩いた。車いすには、安全に乗るためのたくさんの方夫がされていることがわかった。

授業でのほんの少しの体験だけでは、目の不自由な人や車いすに乗っている人のきょうふ心や不安な気持ちは、どうして理解することは出来ない。ただ、これからは、世の中には身体の不自由な人たちがいることは忘れないで、生きていきたい。もし、目の不自由な人や車いすに乗っている人が困っていたら、いつでも手を貸して、不安な気持ちに寄りそってあげたいと思った。

身体の不自由な人の本当のつらさは、今の私には、わかってあげられない。でも、少しでも手伝えること、役立てることがあるなら少しでも寄りそう気持ちを忘れずにしたい。

中学生の部

「今、なにが必要とされているのか」

谷 口 瑠 奈（2年）

みなさんは今、何が必要とされているのか考えたことはありませんか？私はそのようなことをあまり考えたことはありませんでした。でも、夏休みの課題の作文についてのプリントを見た時に、創造性についてよい社会をつくるために「今なにが必要とされているか」を考え、自分たちの自由な発想やアイデアを活かして活動する、と書いてあつてそのようなことを改めて考えたいと思い、この題名にしました。

以前、部活で中学校に向かう時に小さい子から大人までの色々な人が町のごみ拾いをしていました。それを見た友達は、「こういうのありがたいよね。私たちもしたいね。」と言って、私は友達に同感しました。その二カ月後くらいに部活の部員全員でたくさん歩きながらごみ拾いをしました。

私を感じた、「今何を必要とされているのか」は皆一人一人が町のために、みんなのために向き合い行動にして表すことだと思

います。行動に表すことで自分や、町のみなさんの笑顔が増えると思つたからです。

まず、みなさんはボランティアという言葉は知っていますか？ボランティアとは活動する人自身を豊かにし、私達が暮らす地域をより良いものにする事ができる活動です。そしてボランティアにはどのような魅力があると思いますか？ボランティアの魅力とは、大きく分けて二つあると思います。今日から一人からでも始められることができることやボランティア活動を通して様々な人と出会えることです。ボランティアの活動には地域のごみ拾いや花壇整備などの美化活動、地域行事の手伝い、募金などがあります。私の学校でも私も、いつもその花壇整備やくつ箱清掃に参加することにしています。

最後に自分の町をより過ごしやすいするために一人でもできるボランティアをしてみたいかですか？ボランティアをすることで、自分への達成感や町の方々の笑顔が増えると思います。

赤い羽根自動販売機を設置いただきました

この度、グリーンパークしんとつかわ様、サンヒルズサライ様が新たに赤い羽根募金への寄付型自動販売機を設置くださいました。赤い羽根自動販売機での売上げの一部が募金される新しい募金手法として設置を推進しています。自動販売機を入れ替えずに変更できますので、赤い羽根自動販売機の設置協力をお願いします。社会貢献・地域貢献の一環として、本町の福祉活動を支援するために設置協力をお願いします。



社 協 雑 記

家族に「スキー、一緒にしよう!」と言われ、スキーや寒さが苦手な私は、渋々ですが滑ることにしました…。

スキー一式を購入し、新年早々滑ってみることに。20数年ぶりのスキーでしたが、意外と体が覚えており今のところは転ばずに滑ることができています!もう一生滑ることはないと思っていましたが、いい思い出が一つ増えました。あとは、骨折しないように願いながら楽しみたいところです。

A・I

新十津川町社協広報「ふれあい」は赤い羽根共同募金の助成を受け、発行しています。

- ◆ご厚情感謝申し上げます
- 社会福祉協議会へ
- ◆高橋ナミ子さん(総進区) 3万円
- 故武司様生前のお礼
- ◆山田テル子さん(総進区) 5万円
- 故勝男様生前のお礼
- ◆橋本区女性の会 雑巾50枚
- 社会福祉協議会が行う福祉事業へ